

【設問】

問 2-3 あなたが肝炎であることは、誰が知っていますか。(〇はいくつでも)

1. 同居家族	4. 親友	7. その他(1~6以外)の人
2. 親戚	5. 友人一般	8. 誰も知らない
3. 配偶者	6. 職場や学校等の周囲の人	9. わからない

【集計表】

			Q2_3(1) 同居家族		合計
			既知	不知	
ルート	患者会	度数	816	157	973
		%	83.9%	16.1%	100.0%
	モニター	度数	561	171	732
		%	76.6%	23.4%	100.0%
合計		度数	1377	328	1705
		%	80.8%	19.2%	100.0%

			Q2_3(4) 親友		合計
			既知	不知	
ルート	患者会	度数	663	310	973
		%	68.1%	31.9%	100.0%
	モニター	度数	383	349	732
		%	52.3%	47.7%	100.0%
合計		度数	1046	659	1705
		%	61.3%	38.7%	100.0%

			Q2_3(2) 親戚		合計
			既知	不知	
ルート	患者会	度数	720	253	973
		%	74.0%	26.0%	100.0%
	モニター	度数	403	329	732
		%	55.1%	44.9%	100.0%
合計		度数	1123	582	1705
		%	65.9%	34.1%	100.0%

			Q2_3(5) 友人一般		合計
			既知	不知	
ルート	患者会	度数	438	535	973
		%	45.0%	55.0%	100.0%
	モニター	度数	254	478	732
		%	34.7%	65.3%	100.0%
合計		度数	692	1013	1705
		%	40.6%	59.4%	100.0%

			Q2_3(3) 配偶者		合計
			既知	不知	
ルート	患者会	度数	743	230	973
		%	76.4%	23.6%	100.0%
	モニター	度数	503	229	732
		%	68.7%	31.3%	100.0%
合計		度数	1246	459	1705
		%	73.1%	26.9%	100.0%

			Q2_3(6) 職場学校		合計
			既知	不知	
ルート	患者会	度数	259	714	973
		%	26.6%	73.4%	100.0%
	モニター	度数	253	479	732
		%	34.6%	65.4%	100.0%
合計		度数	512	1193	1705
		%	30.0%	70.0%	100.0%

【知見】

全体的には、親族は既知であり、それ以外は不知であるという回答が多い。ただし、親戚については不知とする回答が多く、特にモニターでは4割を大幅に超えている。同居家族や配偶者ですら知らないという回答も一定割合存在し、やはり患者会に比べ、モニターの不知割合が高くなっている。

親友と友人一般の回答割合の違いは興味深く、全体的な回答割合で、既知、不知が転倒する。職場学校については、モニターの方で比較的既知とする回答が多いが、これはモニターに比較的若い年齢の回答者が多数含まれていることと関係すると見られる。

【設問】

問 2-4 あなたはあなた自身が肝炎患者であることについて、下記の人々に知られても構わないと考えますか。(〇はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q2_4(1) 父親					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	6	17	100	232	551	906
		%	.7%	1.9%	11.0%	25.6%	60.8%	100.0%
	モニター	度数	6	14	139	241	332	732
		%	.8%	1.9%	19.0%	32.9%	45.4%	100.0%
合計		度数	12	31	239	473	883	1638
		%	.7%	1.9%	14.6%	28.9%	53.9%	100.0%

			Q2_4(2) 母親					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	11	19	116	292	468	906
		%	1.2%	2.1%	12.8%	32.2%	51.7%	100.0%
	モニター	度数	7	13	158	323	231	732
		%	1.0%	1.8%	21.6%	44.1%	31.6%	100.0%
合計		度数	18	32	274	615	699	1638
		%	1.1%	2.0%	16.7%	37.5%	42.7%	100.0%

			Q2_4(3) 子ども					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	7	24	187	586	122	926
		%	.8%	2.6%	20.2%	63.3%	13.2%	100.0%
	モニター	度数	6	27	220	314	165	732
		%	.8%	3.7%	30.1%	42.9%	22.5%	100.0%
合計		度数	13	51	407	900	287	1658
		%	.8%	3.1%	24.5%	54.3%	17.3%	100.0%

			Q2_4(4) 兄弟姉妹					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	10	37	256	542	77	922
		%	1.1%	4.0%	27.8%	58.8%	8.4%	100.0%
	モニター	度数	14	25	256	349	88	732
		%	1.9%	3.4%	35.0%	47.7%	12.0%	100.0%
合計		度数	24	62	512	891	165	1654
		%	1.5%	3.7%	31.0%	53.9%	10.0%	100.0%

			Q2_4(5) 祖父祖母					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	9	26	115	148	594	892
		%	1.0%	2.9%	12.9%	16.6%	66.6%	100.0%
	モニター	度数	13	26	139	126	428	732
		%	1.8%	3.6%	19.0%	17.2%	58.5%	100.0%
合計		度数	22	52	254	274	1022	1624
		%	1.4%	3.2%	15.6%	16.9%	62.9%	100.0%

			Q2_4(6) 親戚					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	48	139	424	269	37	917
		%	5.2%	15.2%	46.2%	29.3%	4.0%	100.0%
	モニター	度数	36	114	385	152	45	732
		%	4.9%	15.6%	52.6%	20.8%	6.1%	100.0%
合計		度数	84	253	809	421	82	1649
		%	5.1%	15.3%	49.1%	25.5%	5.0%	100.0%

			Q2_4(7) 配偶者					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	5	8	112	651	134	910
		%	.5%	.9%	12.3%	71.5%	14.7%	100.0%
	モニター	度数	5	8	98	466	155	732
		%	.7%	1.1%	13.4%	63.7%	21.2%	100.0%
合計		度数	10	16	210	1117	289	1642
		%	.6%	1.0%	12.8%	68.0%	17.6%	100.0%

			Q2_4(8) 恋人					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	10	25	61	106	661	863
		%	1.2%	2.9%	7.1%	12.3%	76.6%	100.0%
	モニター	度数	11	27	100	185	409	732
		%	1.5%	3.7%	13.7%	25.3%	55.9%	100.0%
合計		度数	21	52	161	291	1070	1595
		%	1.3%	3.3%	10.1%	18.2%	67.1%	100.0%

			Q2_4(9) 友人					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	70	144	385	236	66	901
		%	7.8%	16.0%	42.7%	26.2%	7.3%	100.0%
	モニター	度数	46	119	389	152	26	732
		%	6.3%	16.3%	53.1%	20.8%	3.6%	100.0%
合計		度数	116	263	774	388	92	1633
		%	7.1%	16.1%	47.4%	23.8%	5.6%	100.0%

			Q2_4(10) 職場上司					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	79	82	147	101	476	885
		%	8.9%	9.3%	16.6%	11.4%	53.8%	100.0%
	モニター	度数	54	102	257	95	224	732
		%	7.4%	13.9%	35.1%	13.0%	30.6%	100.0%
合計		度数	133	184	404	196	700	1617
		%	8.2%	11.4%	25.0%	12.1%	43.3%	100.0%

			Q2_4(11) 職場同僚					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	84	82	157	89	471	883
		%	9.5%	9.3%	17.8%	10.1%	53.3%	100.0%
	モニター	度数	58	112	259	83	220	732
		%	7.9%	15.3%	35.4%	11.3%	30.1%	100.0%
合計		度数	142	194	416	172	691	1615
		%	8.8%	12.0%	25.8%	10.7%	42.8%	100.0%

			Q2_4(12) 学校教師					合計
ルート	患者会	モニター	絶対秘密	可能秘密	消極開示	積極開示	非該当	
	患者会	度数	35	36	66	47	690	874
		%	4.0%	4.1%	7.6%	5.4%	78.9%	100.0%
	モニター	度数	29	60	117	36	490	732
		%	4.0%	8.2%	16.0%	4.9%	66.9%	100.0%
合計		度数	64	96	183	83	1180	1606
		%	4.0%	6.0%	11.4%	5.2%	73.5%	100.0%

父親、母親、配偶者など近親者への開示意識は比較的高いと思われる。子どもや兄弟姉妹への積極意識には、開示の義務感や話しやすさなどが関わっていると考えられる。他方、友人や職場上司、職場同僚など、親族外に対象が変わると、開示へのためらいが明らかとなる。

ルート別では、年齢構造の違いが回答に影響していると思われ、患者会では親族への積極開示意識がやや高いようにも見える。一方、モニターでは比較的若い回答者が多いため、社会的関係への影響を考慮した回答が見られる。ただし、本問では「非該当」とする項目に相当多数の回答が寄せられており、回答構造に影響を及ぼしている点に留意する必要がある。

【設問】

問 2-6 あなたは、B型肝炎あるいはC型肝炎患者が、B型肝炎やC型肝炎に**感染していることを知られたくないと思う**のは、どのような理由からだと思いますか。(〇はヨコの行にひとつずつ)

	そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは 思わない
1. 憐れみ、同情されるから	1	2	3	4	5
2. 人間関係が壊れる恐れがあるから	1	2	3	4	5
3. 不利な扱いをされる恐れがあるから	1	2	3	4	5
4. いろいろと気を遣わせてしまうから	1	2	3	4	5
5. 人格について誤解を生じる恐れがあるから	1	2	3	4	5
6. 嫌われるから	1	2	3	4	5
7. その他 ※具体的にお書きください。 ()					

【集計表】

		Q2_6(1) 同情憐み					合計
		そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは思 わない	
ルート	患者会	度数 96	182	165	184	257	884
		% 10.9%	20.6%	18.7%	20.8%	29.1%	100.0%
モニター	度数 39	129	141	194	229	732	
	% 5.3%	17.6%	19.3%	26.5%	31.3%	100.0%	
合計		度数 135	311	306	378	486	1616
		% 8.4%	19.2%	18.9%	23.4%	30.1%	100.0%

		Q2_6(4) 周囲気遣					合計
		そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは思 わない	
ルート	患者会	度数 166	282	144	143	166	901
		% 18.4%	31.3%	16.0%	15.9%	18.4%	100.0%
モニター	度数 108	267	145	96	116	732	
	% 14.8%	36.5%	19.8%	13.1%	15.8%	100.0%	
合計		度数 274	549	289	239	282	1633
		% 16.8%	33.6%	17.7%	14.6%	17.3%	100.0%

		Q2_6(2) 人間関係					合計
		そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは思 わない	
ルート	患者会	度数 171	209	149	158	214	901
		% 19.0%	23.2%	16.5%	17.5%	23.8%	100.0%
モニター	度数 59	180	154	150	189	732	
	% 8.1%	24.6%	21.0%	20.5%	25.8%	100.0%	
合計		度数 230	389	303	308	403	1633
		% 14.1%	23.8%	18.6%	18.9%	24.7%	100.0%

		Q2_6(5) 人格誤解					合計
		そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは思 わない	
ルート	患者会	度数 116	169	178	172	264	899
		% 12.9%	18.8%	19.8%	19.1%	29.4%	100.0%
モニター	度数 64	136	169	159	204	732	
	% 8.7%	18.6%	23.1%	21.7%	27.9%	100.0%	
合計		度数 180	305	347	331	468	1631
		% 11.0%	18.7%	21.3%	20.3%	28.7%	100.0%

		Q2_6(3) 不利取扱					合計
		そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは思 わない	
ルート	患者会	度数 240	238	125	119	177	899
		% 26.7%	26.5%	13.9%	13.2%	19.7%	100.0%
モニター	度数 104	205	140	121	162	732	
	% 14.2%	28.0%	19.1%	16.5%	22.1%	100.0%	
合計		度数 344	443	265	240	339	1631
		% 21.1%	27.2%	16.2%	14.7%	20.8%	100.0%

		Q2_6(6) 嫌悪忌避					合計
		そう思う	多少は そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そうは思 わない	
ルート	患者会	度数 142	187	177	150	244	900
		% 15.8%	20.8%	19.7%	16.7%	27.1%	100.0%
モニター	度数 58	121	208	138	207	732	
	% 7.9%	16.5%	28.4%	18.9%	28.3%	100.0%	
合計		度数 200	308	385	288	451	1632
		% 12.3%	18.9%	23.6%	17.6%	27.6%	100.0%

【知見】

本設問に対する回答は、各項目間、また各項目内においてかなりばらけており、「そう思う」から「そうは思わない」まで、幅広い見解がとられていることが分かる。ルート別では、患者会の方にやや強い反応が示されているものの、モニターの回答構造も、大筋患者会のそれに似通っている。

【設問】

問 2-8 あなたは下記の差別問題が生じる原因として、「知識不足」、「心の問題」、「制度的不備」のうち、どれが最も大きく関わっていると思いますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q2_8(1) 男女差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	265	295	308	868
		%	30.5%	34.0%	35.5%	100.0%
	モニター	度数	172	309	251	732
		%	23.5%	42.2%	34.3%	100.0%
合計		度数	437	604	559	1600
		%	27.3%	37.8%	34.9%	100.0%

			Q2_8(2) 部落差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	466	259	137	862
		%	54.1%	30.0%	15.9%	100.0%
	モニター	度数	334	269	129	732
		%	45.6%	36.7%	17.6%	100.0%
合計		度数	800	528	266	1594
		%	50.2%	33.1%	16.7%	100.0%

			Q2_8(3) 身障差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	351	338	177	866
		%	40.5%	39.0%	20.4%	100.0%
	モニター	度数	259	330	143	732
		%	35.4%	45.1%	19.5%	100.0%
合計		度数	610	668	320	1598
		%	38.2%	41.8%	20.0%	100.0%

			Q2_8(4) 精障差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	394	324	139	857
		%	46.0%	37.8%	16.2%	100.0%
	モニター	度数	300	319	113	732
		%	41.0%	43.6%	15.4%	100.0%
合計		度数	694	643	252	1589
		%	43.7%	40.5%	15.9%	100.0%

			Q2_8(5) 性感差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	608	167	93	868
		%	70.0%	19.2%	10.7%	100.0%
	モニター	度数	476	190	66	732
		%	65.0%	26.0%	9.0%	100.0%
合計		度数	1084	357	159	1600
		%	67.8%	22.3%	9.9%	100.0%

			Q2_8(6) 外人差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	313	362	174	849
		%	36.9%	42.6%	20.5%	100.0%
	モニター	度数	214	387	131	732
		%	29.2%	52.9%	17.9%	100.0%
合計		度数	527	749	305	1581
		%	33.3%	47.4%	19.3%	100.0%

			Q2_8(7) 学歴差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	244	346	264	854
		%	28.6%	40.5%	30.9%	100.0%
	モニター	度数	173	335	224	732
		%	23.6%	45.8%	30.6%	100.0%
合計		度数	417	681	488	1586
		%	26.3%	42.9%	30.8%	100.0%

			Q2_8(8) 高齢差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	199	398	267	864
		%	23.0%	46.1%	30.9%	100.0%
	モニター	度数	144	366	222	732
		%	19.7%	50.0%	30.3%	100.0%
合計		度数	343	764	489	1596
		%	21.5%	47.9%	30.6%	100.0%

			Q2_8(9) アイヌ差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	476	225	144	845
		%	56.3%	26.6%	17.0%	100.0%
	モニター	度数	397	239	96	732
		%	54.2%	32.7%	13.1%	100.0%
合計		度数	873	464	240	1577
		%	55.4%	29.4%	15.2%	100.0%

			Q2_8(10) 職業差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	291	326	227	844
		%	34.5%	38.6%	26.9%	100.0%
	モニター	度数	236	305	191	732
		%	32.2%	41.7%	26.1%	100.0%
合計		度数	527	631	418	1576
		%	33.4%	40.0%	26.5%	100.0%

			Q2_8(11) 宗教差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	314	471	68	853
		%	36.8%	55.2%	8.0%	100.0%
	モニター	度数	225	437	70	732
		%	30.7%	59.7%	9.6%	100.0%
合計		度数	539	908	138	1585
		%	34.0%	57.3%	8.7%	100.0%

			Q2_8(12) 肝炎差別			合計
			知識不足	心の問題	制度的不備	
ルート	患者会	度数	696	105	88	889
		%	78.3%	11.8%	9.9%	100.0%
	モニター	度数	508	158	66	732
		%	69.4%	21.6%	9.0%	100.0%
合計		度数	1204	263	154	1621
		%	74.3%	16.2%	9.5%	100.0%

【知見】

全体的にみれば、項目によって、「知識不足」や「心の問題」に着目するもの、あるいは3つのそれぞれに回答が分散しているものがあり、興味深い。一方、ルート別で最も顕著な特徴は、患者会では「知識不足」への回答が相対的に高いのに対し、モニターではそれが「心の問題」となっている点にある。なぜこのような傾向となっているかについては、詳細な検討が必要であると思われる。

【設問】

問 2-10 あなたが下記のような行為に直面した場合、それほどの程度、**あなたが肝炎患者であることと関わっている**と考えますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q2_10(1) 理由陰口					合計	
			絶対関与	曖昧関与	中庸	曖昧不関与	絶対不関与		非該当
ルート	患者会	度数	60	144	232	125	123	184	868
		%	6.9%	16.6%	26.7%	14.4%	14.2%	21.2%	100.0%
	モニター	度数	33	87	144	131	156	181	732
		%	4.5%	11.9%	19.7%	17.9%	21.3%	24.7%	100.0%
合計		度数	93	231	376	256	279	365	1600
		%	5.8%	14.4%	23.5%	16.0%	17.4%	22.8%	100.0%

			Q2_10(12) 理由健診					合計	
			絶対関与	曖昧関与	中庸	曖昧不関与	絶対不関与		非該当
ルート	患者会	度数	88	182	166	88	104	216	844
		%	10.4%	21.6%	19.7%	10.4%	12.3%	25.6%	100.0%
	モニター	度数	50	105	149	95	139	194	732
		%	6.8%	14.3%	20.4%	13.0%	19.0%	26.5%	100.0%
合計		度数	138	287	315	183	243	410	1576
		%	8.8%	18.2%	20.0%	11.6%	15.4%	26.0%	100.0%

			Q2_10(13) 理由入院					合計	
			絶対関与	曖昧関与	中庸	曖昧不関与	絶対不関与		非該当
ルート	患者会	度数	134	157	131	87	119	212	840
		%	16.0%	18.7%	15.6%	10.4%	14.2%	25.2%	100.0%
	モニター	度数	65	117	123	86	144	197	732
		%	8.9%	16.0%	16.8%	11.7%	19.7%	26.9%	100.0%
合計		度数	199	274	254	173	263	409	1572
		%	12.7%	17.4%	16.2%	11.0%	16.7%	26.0%	100.0%

			Q2_10(14) 理由外来					合計	
			絶対関与	曖昧関与	中庸	曖昧不関与	絶対不関与		非該当
ルート	患者会	度数	147	168	123	91	112	198	839
		%	17.5%	20.0%	14.7%	10.8%	13.3%	23.6%	100.0%
	モニター	度数	70	118	121	82	145	196	732
		%	9.6%	16.1%	16.5%	11.2%	19.8%	26.8%	100.0%
合計		度数	217	286	244	173	257	394	1571
		%	13.8%	18.2%	15.5%	11.0%	16.4%	25.1%	100.0%

			Q2_10(16) 理由保険					合計	
			絶対関与	曖昧関与	中庸	曖昧不関与	絶対不関与		非該当
ルート	患者会	度数	391	180	68	23	43	152	857
		%	45.6%	21.0%	7.9%	2.7%	5.0%	17.7%	100.0%
	モニター	度数	231	132	102	37	74	156	732
		%	31.6%	18.0%	13.9%	5.1%	10.1%	21.3%	100.0%
合計		度数	622	312	170	60	117	308	1589
		%	39.1%	19.6%	10.7%	3.8%	7.4%	19.4%	100.0%

【知見】

全体的に見れば、比較的回答は分散しているように思われる。しかし、ルート別では様相が異なり、患者会では、さまざまな差別的取扱いに肝炎であるということが関わっていると比較的考える傾向にあり、他方モニター回答はやや穏やかな反応を示している。

唯一の例外は、保険加入時の差別的取扱いについてであり、ルートに関わらず強い見解が示されている。

【設問】

問 2-11 肝炎患者であることを理由に、下記の機関等による差別的な取扱いを受けたと想定してください。

問 2-11-1 あなたなら最初にどのように対応しますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	あきらめる	家族に相談する	知人や友人に相談する	関係機関に相談する	裁判に訴える
1. 行政機関による差別	1	2	3	4	5
2. 職場または学校による差別	1	2	3	4	5
3. 医療機関による差別	1	2	3	4	5
4. 地域社会による差別	1	2	3	4	5
5. 知人・友人からの差別	1	2	3	4	5
6. 家族・親族からの差別	1	2	3	4	5

【集計表】

		Q2_11_1(1) 一次行政					合計	
		あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判		
ルート	患者会	度数	65	137	35	598	56	891
		%	7.3%	15.4%	3.9%	67.1%	6.3%	100.0%
モニター	患者会	度数	80	85	29	433	105	732
		%	10.9%	11.6%	4.0%	59.2%	14.3%	100.0%
合計		度数	145	222	64	1031	161	1623
		%	8.9%	13.7%	3.9%	63.5%	9.9%	100.0%

		Q2_11_1(4) 一次地域					合計	
		あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判		
ルート	患者会	度数	111	184	125	432	21	873
		%	12.7%	21.1%	14.3%	49.5%	2.4%	100.0%
モニター	患者会	度数	116	122	81	356	57	732
		%	15.8%	16.7%	11.1%	48.6%	7.8%	100.0%
合計		度数	227	306	206	788	78	1605
		%	14.1%	19.1%	12.8%	49.1%	4.9%	100.0%

		Q2_11_1(2) 一次職学					合計	
		あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判		
ルート	患者会	度数	91	160	86	497	24	858
		%	10.6%	18.6%	10.0%	57.9%	2.8%	100.0%
モニター	患者会	度数	86	124	88	378	56	732
		%	11.7%	16.9%	12.0%	51.6%	7.7%	100.0%
合計		度数	177	284	174	875	80	1590
		%	11.1%	17.9%	10.9%	55.0%	5.0%	100.0%

		Q2_11_1(5) 一次知友					合計	
		あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判		
ルート	患者会	度数	226	284	237	129	5	881
		%	25.7%	32.2%	26.9%	14.6%	.6%	100.0%
モニター	患者会	度数	216	187	204	106	19	732
		%	29.5%	25.5%	27.9%	14.5%	2.6%	100.0%
合計		度数	442	471	441	235	24	1613
		%	27.4%	29.2%	27.3%	14.6%	1.5%	100.0%

		Q2_11_1(3) 一次医療					合計	
		あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判		
ルート	患者会	度数	74	125	40	594	50	883
		%	8.4%	14.2%	4.5%	67.3%	5.7%	100.0%
モニター	患者会	度数	69	91	34	445	93	732
		%	9.4%	12.4%	4.6%	60.8%	12.7%	100.0%
合計		度数	143	216	74	1039	143	1615
		%	8.9%	13.4%	4.6%	64.3%	8.9%	100.0%

		Q2_11_1(6) 一次家族					合計	
		あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判		
ルート	患者会	度数	253	286	155	174	6	874
		%	28.9%	32.7%	17.7%	19.9%	.7%	100.0%
モニター	患者会	度数	256	225	117	113	21	732
		%	35.0%	30.7%	16.0%	15.4%	2.9%	100.0%
合計		度数	509	511	272	287	27	1606
		%	31.7%	31.8%	16.9%	17.9%	1.7%	100.0%

【知見】

一次的対応では、全体的には、知人友人ないし家族親族による差別の場合には、「あきらめる」あるいは「家族」や「友人や知人」への相談による解決を目指す方向性が、それ以外では関係機関への相談傾向が強く示されている。しかしこれをルート別に見ると、概して患者会では関係機関への相談が多く見られるものの、モニターでは「あきらめる」や裁判へのチャレンジが特徴的である。

【設問】

問 2-11 肝炎患者であることを理由に、下記の機関等による差別的な取扱いを受けたと想定してください。

問 2-11-2 前問（問 2-11-1）において「あきらめる」以外に回答された方にお伺いします。もしそうした対応により問題が解決しなかった場合、次にどのように対応しますか。（○はヨコの行にひとつずつ）

	あきらめる	家族に相談する	知人や友人に相談する	関係機関に相談する	裁判に訴える
1. 行政機関による差別	1	2	3	4	5
2. 職場または学校による差別	1	2	3	4	5
3. 医療機関による差別	1	2	3	4	5
4. 地域社会による差別	1	2	3	4	5
5. 知人・友人からの差別	1	2	3	4	5
6. 家族・親族からの差別	1	2	3	4	5

【集計表】

			Q2_11_2(1) 二次行政					
			あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判	合計
ルート	患者会	度数	139	56	50	268	250	763
		%	18.2%	7.3%	6.6%	35.1%	32.8%	100.0%
モニター	度数	114	37	63	156	282	652	
		%	17.5%	5.7%	9.7%	23.9%	43.3%	100.0%
合計	度数	253	93	113	424	532	1415	
		%	17.9%	6.6%	8.0%	30.0%	37.6%	100.0%

			Q2_11_2(4) 二次地域					
			あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判	合計
ルート	患者会	度数	161	54	74	297	107	693
		%	23.2%	7.8%	10.7%	42.9%	15.4%	100.0%
モニター	度数	138	48	70	182	178	616	
		%	22.4%	7.8%	11.4%	29.5%	28.9%	100.0%
合計	度数	299	102	144	479	285	1309	
		%	22.8%	7.8%	11.0%	36.6%	21.8%	100.0%

			Q2_11_2(2) 二次職学					
			あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判	合計
ルート	患者会	度数	122	53	56	308	169	708
		%	17.2%	7.5%	7.9%	43.5%	23.9%	100.0%
モニター	度数	116	46	76	181	227	646	
		%	18.0%	7.1%	11.8%	28.0%	35.1%	100.0%
合計	度数	238	99	132	489	396	1354	
		%	17.6%	7.3%	9.7%	36.1%	29.2%	100.0%

			Q2_11_2(5) 二次知友					
			あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判	合計
ルート	患者会	度数	174	101	105	184	32	596
		%	29.2%	16.9%	17.6%	30.9%	5.4%	100.0%
モニター	度数	160	83	64	148	61	516	
		%	31.0%	16.1%	12.4%	28.7%	11.8%	100.0%
合計	度数	334	184	169	332	93	1112	
		%	30.0%	16.5%	15.2%	29.9%	8.4%	100.0%

			Q2_11_2(3) 二次医療					
			あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判	合計
ルート	患者会	度数	120	53	46	311	211	741
		%	16.2%	7.2%	6.2%	42.0%	28.5%	100.0%
モニター	度数	123	37	60	182	261	663	
		%	18.6%	5.6%	9.0%	27.5%	39.4%	100.0%
合計	度数	243	90	106	493	472	1404	
		%	17.3%	6.4%	7.5%	35.1%	33.6%	100.0%

			Q2_11_2(6) 二次家族					
			あきらめる	家族相談	知人友人相談	関係機関相談	裁判	合計
ルート	患者会	度数	182	91	87	175	29	564
		%	32.3%	16.1%	15.4%	31.0%	5.1%	100.0%
モニター	度数	157	62	76	128	53	476	
		%	33.0%	13.0%	16.0%	26.9%	11.1%	100.0%
合計	度数	339	153	163	303	82	1040	
		%	32.6%	14.7%	15.7%	29.1%	7.9%	100.0%

【知見】

二次対応になると全体傾向にも変化が見られ、「あきらめる」が増える一方、「裁判」を選択する割合も高騰する。ルート別では、患者会が関係機関相談を比較的維持する傾向にある一方、モニターでは裁判への期待が高くなっている。

【報告書2】

肝疾患相談センター（名古屋市立大学）ヒアリング調査結果報告書

研究協力者 香山秀峰

拠点病院・名古屋市立大学病院肝疾患相談センターにおけるヒアリング調査の結果の概要は以下のとおりである。

実施日：平成24年9月18日

担当者：龍岡 資晃、戸松 秀典、四柳 宏、米澤 敦子、香山 秀峰

対応者：医師2名、看護師1名、相談員2名

ヒアリング調査結果の概要

- 1 差別・偏見に関する事例は、別紙のとおりである。
- 2 各事例に対する相談員等の説明は、以下のとおりである。

【事例1】について

患者は母子感染。この事例では小児科の医師とも相談しながら対応した。他の所で以前集団感染ということもあったので、保育園の責任者には伝えておいた方がよいのではとアドバイスした。その後の詳しい経過等については把握していないが、患者の両親からのクレーム等はなかった。

【事例2】について

子供が集団生活（保育園）に入るので感染が心配だということと、B型肝炎ワクチンの予防接種を受けたいと思っているが副作用が心配だという相談。小児科医とよく相談してもらいたいと話した。

【事例3】について

小学校の4年生ぐらいになると部活を始めることになるが、この事例では子供がサッカー部に入りたいということで、C型肝炎も陰性となっていて、小児科の医師も大丈夫だという診断書を渡してくれたのだが、学校側がそれだけでは納得できないと難色を示した事例である。結局、学校の校長先生や他の担当の先生が直接小児科医から改めて説明を聞いてやっと部活が許可された。肝炎は治っていると話しても、学校側がなかなか納得しないという態度に、相談員としてもショックを受けた事例である。学校側が集団感染を懸念する気持ちは分かるが…。

【事例4】について

患者は中学生でC型肝炎。肝炎の治療を始めるに当たって、当然週1回インターフェロンの注射をすることになるが、そうすると学校を早退することになるので、担任の先生とか保健の先生にそのことを話しておいた方がよいのではと話した。しかし、母親は絶対知られたくないということで、夕方に治療をしてくれる病院を探してほしいということだったので、小児科の医師と近くの開業医の先生とで十分連携をとってもらって、母親の要望に応えることができた。これは、母親が子供が肝炎であることを絶対隠したいという強い気持ちを持っていることを知った事例である。

【事例5】について

患者は高校生でC型肝炎。夏休みに入院して治療することになったが、当院でも10年以上前は入院の際に隔離というような態勢をとっていたので、母親自身がそれを経験していてとても心配していた。患者本人には成人病棟に入ってもらって、その病棟と連携を十分取りながら母親の不安を解消して、無事治療を終えることができた。

C型でも母子感染・父子感染の事例は相談の中でも意外と多く、特に母親が感染させた子供に対して罪悪感のような気持ちを多分に持っていて、子供を絶対守ってやらなくてはという意識が強く、子供

の治療に関してはあらゆる面で大変心配していることがよく分かる。

〔事例6〕について

相談者はB型肝炎の患者。高校生のとき、衛生看護科だったので正看護師の資格を取りたいと思って進学相談をしたが、教師から「君は肝炎だから医療従事者としては働けない」と言われ、「どうしても進学したいのなら自分で探して行きなさい」と言われた。その後、やっとの思いで進学した学校でも、同級生から「あまり触らないで」と言われてかなり傷ついたり、体調も悪くなったという事例である。

〔事例7〕について

相談者はB型肝炎の患者。20年前、肛門科を受診したとき、「詳細」欄に記載のような言葉を受け、B型肝炎は治ることはないのにこのようなことを言われ、差別を受けたという事例である。

〔事例8〕について

患者は80代のC型肝炎の女性。4人部屋に入院中に、主治医がその部屋で「C型肝炎」という言葉を発するので、それはやめてほしい、自分は近所の人にも内緒で入院しているので、同部屋の人にも知られたくないということで、その患者の要望を主治医に伝えた結果、その後はよくなった。

〔事例9〕について

B型肝炎ということで、栄養士としての就職ができなかった事例である。エステの場合も、人の身体に触るということから就職はできないと聞いている。

〔事例10〕について

20年以上前の出産の際の差別事例。一般患者とのトイレの共用が認められなくて「使用禁止」の貼り紙がされているトイレを使用するように指示され、そのトイレから出てくると、事情を知らない人からは「このトイレは使用禁止ですよ」と注意を受けることもあり、周囲に人のいないことを確認しながらそのトイレを使用していた。また、授乳室で使った物は授乳室には捨てないで、自分の部屋に持ち帰って捨てるようにと指導を受けたとのことである。

最近でも、病院によっては隔離しているところもあるようで、総合病院でもまだまだ完全ではないなど思っている。当院は愛知県全体をフォローしているが、当院が直接他の病院を指導するというようなことはしていない。指導等は、多分愛知県がやっていると思われる。

〔事例11〕について

当院で治療しているB型肝炎の患者であるが、肝機能の数値も落ち着いてきたので歯科医を紹介してほしいという依頼を受け、たまたま当大学の口腔外科の医師が開業したので、その先生なら多分大丈夫だろうということで紹介したという事例である。

〔事例12〕について

患者（母親）の娘からの電話で、現在、患者の長男が面倒を看っていて、今のところは軽い認知症だが、将来、この認知症が悪化したとき老人介護施設で見てくれるかという相談であった。医師に確認したら、C型肝炎であるという診断書を提出すれば大丈夫だと思われ、また、医療施設にも確認したら、最近ではC型肝炎だということを理由に断ることはないということであったので、その旨伝えたら大変安心していた。

介護施設からの相談は、平成20年に当院は相談室を開設したが、それから今日までに電話による相談が10件ぐらいあったと記憶している。相談の内容は、B型肝炎の人がいるのだがどう対応したらよいかとか、職員の中に肝炎の人がいるのだがどうすればよいかとか、コップ一つでも共用していいのか等の相談であった。各施設の職員は、まだまだ警戒しているとか恐怖感を抱いていると思われる。当院が独自に介護施設を対象にウイルス性肝炎についての講演会等はやっていないが、相談があると、感染予防については厚労省のガイドラインに沿って分かっている知識の範囲で知らせたり、